

ふくしま共創のまちづくり計画

蓬萊地区

作成：蓬萊地区ふくしま共創の
まちづくり計画策定懇談会
事務局：蓬萊支所内
電話：(024) 548-4508

地域ビジョン

- ・「子どもから高齢者まで蓬萊住民であることに誇りと愛着を持って、住み続けたいと思えるまち」
- ・「地域住民が相互に助け合い、楽しく暮らせるまち」
- ・「防犯・防火、青少年の健全育成のさらなる醸成による安全安心なまち」



【ほうらい夏まつり（盆踊り）】

地域の個性

【位置】

当該地区は中心市街地から南方約7kmの丘陵地に位置し、総面積は本市の約1%の7.50km²とコンパクトながら、緑豊かな自然環境に恵まれた地区です。歴史と伝統を有する田沢・清水町と、蓬萊・桜台の両ニュータウンとで蓬萊地区を形成しています。地区の中心は計画的に造成された住宅地となっており、北部と東部には農地や山林が広がり、南西部には誘致企業が立地、地域医療の拠点施設である福島県立医科大学等が近接しています。

【人口】

平成17年に1万3千人を超えていた人口は、令和7年には9千人台に減少し、世帯数も減少傾向にあります。今後さらなる核家族化の進行や高齢化が予測されます。また、外国人の方が比較的多く居住しています。

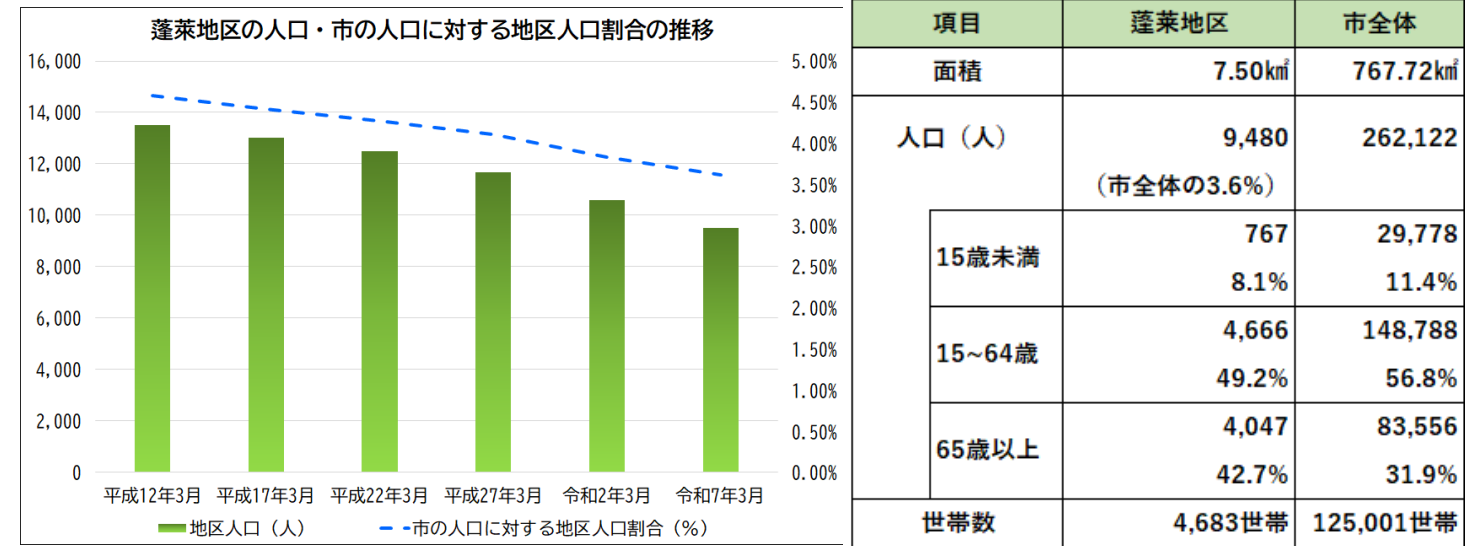
【歴史】

地区の歴史は古く、江戸時代には清水町村が街道の宿駅として栄えていたことが記録に残っています。明治22年に田沢村と清水町村が旧杉妻村と合併し、長く杉妻地区に属していましたが、その後、昭和44年に蓬萊ニュータウン計画がスタートし、急速な人口の増加に伴い田沢・清水町・蓬萊町が杉妻地区から分離し蓬萊地区が誕生しました。

【人材・ネットワーク】

地区内は人材に恵まれており、まちづくりに対する住民意識が高く、また、蓬萊学習センターを中心にスポーツ、文化といった各種サークル活動による交流が盛んに行われています。これらのネットワークを大切に、子どもから高齢者まで蓬萊住民であることに誇りと愛着を持って、いきいきと暮らせる明るく元気なまちづくりが望まれています。

蓬萊地区の基礎データ（R7.9末現在）



地域の取り組みの実績

- (1) 花いっぱい運動や環境整備
実施町内会内での共同作業を通じて地区内の美観整備に取り組んでいます。
- (2) ほうらい夏まつり（盆踊り）
地域住民の親睦とにぎわいの創出、子どもたちの夏の思い出作りを目的として毎年開催しています。
- (3) 明るい蓬萊をつくるための意見交換会
明るい故郷（蓬萊）をつくるために地区の児童生徒が創作した、家族や友達関係、環境問題の標語を募集し入選作品を決定・発表するとともに意見交換会を開催しています。
- (4) 非行防止パトロール事業
蓬萊地区青少年健全育成推進会（非行防止活動部会）や蓬萊地区三校PTA連絡協議会（蓬萊パトロール隊員）、蓬萊地区防犯防火協力会（防犯指導隊）による地区内のパトロールを実施し、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。
- (5) 蓬萊地区小さな交通協議会
蓬萊地区における地域の実情に応じた日常生活を支える移動手段の確保のため、必要な事項を協議することを目的に協議会を設立しました。
- (6) 各種サロンの開催
地域住民が元気に暮らすために必要な仲間づくり、健康づくりを目的としてそれぞれ特色ある内容で開催しています。
- (7) 蓬萊地区子どもの安全確保連絡協議会として、学校・警察・行政と地域団体のネットワークを形成し子どもたちを見守っています。



【コミュニティバス「くるくるバス」】

地域の強みとなる資源

- (1) 神社仏閣・景勝地ならびに伝統文化の保存活動
蓬萊の地名の由来となった蓬萊岩をはじめとする景勝地や歴史ある神社仏閣、盆踊りに欠かせない太鼓・囃子の保存会が存在します。また、文化財や貴重な郷土玩具等が受け継がれています。
- (2) NPO法人が運行する地域交通
地区内にきめ細やかに配置されたコミュニティバス（くるくるバス）停留所を利用して、商業施設等の中心施設に移動できます。また、地区として地域交通の継続をサポートするための「小さな交通協議会」があります。
- (3) 地区内の企業・医療施設や近接地区の大学等
「地域未来牽引企業」として経済産業省により選定された地域経済の中心となりうる企業や大学・大学病院等が近接しています。また、地区中央部には、公共施設や金融機関が集積した中心施設があり、利便性の高い安心な住環境となっています。
- (4) 経験豊かな人材
学識経験者、技術者、農業者の経験を活かした専門性の高い助言ができる識者が多く居住しています。
- (5) 子どもたちの居場所と交流の場
蓬萊児童センターや蓬萊こどもの部屋「虹」等を中心とした、自由に過ごせる居場所において世代間交流を図ることができます。また、計画的に整備されたニュータウンらしく、地区の中心には自然豊かな蓬萊中央公園や学習センター併設の図書館があります。

地域課題

- (1) 高齢化や人口減少などによって生じる孤立化・孤独死や空き家問題、遊休農地、山林の荒廃
また、土手等の除草対策
- (2) 世代間交流やふれあいの場、地域に関する情報の発信と人材の育成
- (3) 子育て世代の移住定住を促進するとともに、児童の下校後の居場所づくりや安心して子育てができる環境整備
- (4) 地域史や郷土玩具、言い伝えを含む伝統文化の継承
- (5) 近接する大学・大学病院との連携（健康増進の取り組み、小・中学生の体験学習等）
- (6) 日常的に通える医療施設の減少

重点的な取り組み

I 情報発信

- 【方 針 1】蓬萊が魅力あるまちであることの情報発信します。
（継続）地域の歴史資源や地域活動など、地域の情報を発信します。
（継続）空き家の状況の把握に努め、空き家の発生を抑制するために所有者や土地を求めている人に対し相談窓口などの情報を発信します。
（新規）新規指定文化財や郷土史などの情報を次代を担う世代に発信し継承します。
- 【方 針 2】福島市南部地域の核としての位置づけを意識した取り組みを進めます。
（新規）交流人口、昼間人口を含めたにぎわいの創出を図ります。

II 地域コミュニティ

- 【方 針 1】元気な高齢者の活動を活性化し、明るく元気な蓬萊地区を築きます。
（継続）交通教室や高齢者が子どもたちに料理を教えながら一緒に調理し食事をする食事会、伝承遊びを通じて世代間交流に取り組みます。
（新規）今後高齢者となる世代を含めた、健康増進・介護予防および病気に対する備えに取り組みます。
- 【方 針 2】地区のネットワークづくりを推進します。
（継続）各種地域活動団体や町内会が連携した、活気ある蓬萊地区づくりを推進します。
（継続）高齢者も若者も、共に力を合わせて、世代間のふれあい、交流イベントを推進します。
（新規）「向こう三軒両隣り」。近隣への声かけにより、心の通った近所付き合いに取り組みます。
（新規）地域で収穫した農産物を提供する、ほうらい朝市を介した地域とのつながりや地産地消を推進します。
- 【方 針 3】様々な場を活かした地域住民の交流に取り組みます。
（継続）子どもから大人まで外国人も一緒に集える場の創出に取り組みます。
（継続）自然とのふれあいを通じた子どもと大人の交流に取り組みます。
- 【方 針 4】地域の諸活動の電子化を図ります。
（新規）情報をリアルタイムに収集すると共に、業務担い手の負担軽減、環境に配慮したペーパーレス化に貢献します。

III 子どもの健全育成

- 【方 針 1】子育て世代にとって魅力あるまちづくりに取り組み、地区への定着を促進します。
（継続）各種地域活動団体の連携により、子育て世代に選ばれるまちづくりに取り組みます。
（新規）市・学校・地域活動団体が一体となって、子どもたちが学ぶ環境・居場所づくりについて検討します。
（新規）子どもたちに自然の魅力や気づきが芽生えるよう、緑や植物、果樹などとの触れ合いの場を創出します。



【親子清掃活動の様子】

IV 安全・安心

- 【方 針 1】安全で安心なまちをつくるため、地域が一体となって取り組みます。
（拡充）災害および獣害発生時の備えについて学習、訓練を行い、住民の意識を高めます。
（継続）災害時に自力での避難が困難な高齢者・障がい者などの避難行動要支援者に対する支援を行います。
（拡充）犯罪のない地域づくりのため、防犯団体によるパトロールや被害者とならないための啓蒙活動を実施します。
（継続）交流の機会をつくり、孤立化や孤独死を防ぐ見守り活動に取り組みます。

V 環境整備

- 【方 針 1】自然や住環境を整備し地域の環境を守る活動に取り組みます。
（継続）地域団体による環境美化・環境整備に取り組みます。
（新規）「小さな交通協議会」を基盤に地域交通の充実に取り組みます。